

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 2月 25 日

事業所名 まなviva

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		スペースはそこまで広くはないが、配置等工夫して広く使えるようにしている。
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		余裕を持った人員配置を心がけている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		絵を使って伝えるなど工夫している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>		配置等工夫している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		<input type="radio"/>	あまり取り組めていなかった。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		様々な声を聴き、職員間で共有している。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>	あまり業務改善に活かせていなかった。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		研修のお知らせをグループラインで告知していた。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		課題やニーズを踏まえ、支援計画の作成にとり組んでいた。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		使用できていた。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	<input type="radio"/>		具体的な支援内容を設定し、支援に活かしていた。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	<input type="radio"/>		計画に沿った支援ができていた。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		チームで様々な案を出し、実際に活動の中に取り入れてきた。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		プログラムが固定しないように、教室外で活動も積極的に取り入れた。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		個別・集団支援どちらが必要なのか見極め、支援家角の中に盛り込んでいる。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		打ち合わせは毎回行っていた。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		必ず支援終了後、その日にあった出来事などを共有している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		支援の記録は抜かりなく行っていた。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している		<input type="radio"/>	支援計画の見直しが不十分だった。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>		しっかり行っていた。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	<input type="radio"/>		複数の機関と連携し支援を行うことができている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>		情報共有、相互理解を定期的に行っていた。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>		情報共有、相互理解を定期的に行っていた。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>		助言や研修棟で得た知識を支援に活かさせられていた。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	<input type="radio"/>		児童館や公園を利用し、そこで交流があった。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	<input type="radio"/>		参加できている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>		お迎えに来た際に情報共有等を行っている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	<input type="radio"/>		しっかり行っていた。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>		利用開始時に説明している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	<input type="radio"/>		支援計画を示しながら、どのような支援を行うか具体的に説明している。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>		必要時には、迅速に助言や支援を行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	<input type="radio"/>		しっかりと行っていた。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>		相談等があった場合には基本的にその日中に解決できるようにしている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>		アルバムや教室の壁に貼っている写真等で活動の様子をお知らせしている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	<input type="radio"/>		しっかり管理できている。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>		その子供に合わせて配慮している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	<input type="radio"/>		地域の方と関わる機会を置く設けている。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	<input type="radio"/>		マニュアルの作成、訓練共に行っている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		<input checked="" type="radio"/>	訓練をしっかりと行った。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	<input type="radio"/>		契約時に確認している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>		アレルギーがある子供に対しては、指示書に基づく対応を行っている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		<input type="radio"/>	共有が不十分だった。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>		研修等に参加できおり、支援に活かすことができている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	<input type="radio"/>		現在来所している子供の中に該当する子供はいない。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
引き続き継続する。
ハプニング等に備えて、人員には余裕を持つ。
職員間で、よりよい情報伝達のための方法を考える。
掃除は徹底し、気持ちよく過ごせる空間を作る。
今後は取り組むようにする。
保護者等の意向を活かせるよう努める。
引き続き公開するとともに、保護者の方等にみてもらうようにする。
頂いた評価をもとに職員で話す機会を作る。
引き続き研修等を活用し、支援の向上を目指す。
日々の様子をしっかり記録し、支援計画に反映できるようにする。
引き続きアセスメントツールを使用しながら支援に取り組む。
支援計画には具体的に記載することを徹底し、ガイドラインと照らし合わせながら計画を作成する。
引き続き計画に沿った支援を行っていく。
今後も様々なプログラムを考えていく。
今後も子供の興味・関心を伸ばすために様々な活動を企画していく。
日々の様子をしっかり観察し、どのような支援が必要なのか考える。

課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
打ち合わせの時間をしっかり確保し、支援内容の共有等徹底する。
共有を徹底し、支援に活かせるようにする。
引き続き継続する。
作成した計画に基づいた支援を行っていく中で、計画の見直しについても取り組む。
引き続き継続する。
連携を密にし、より良い支援を目指す。
引き続き継続する。
引き続き継続する。
研修に参加しやすい環境を整え、さらなる支援の向上を目指す。
交流する機会をより多く設け、様々な経験をしてもらう。
引き続き参加できる時には参加するようにする。
子供の家での様子等を聞き、発達の状況を常に把握する。
家族の悩みや要望を踏まえた支援を引き続き行っていく。
丁寧な説明をこころがける。
引き続き丁寧な支援内容等の説明を心がける。

課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
今後も迅速な対応を目指す。
引き続き継続していく。
相談に迅速かつ適切に対応するとともに、相談な内容等を社内 で共有する。
今後は写真だけではなく、会報 等で発信できるよう努める。
引き続き継続していく。
今後も保護者との意思疎通や 情報伝達が行いやすいよう配 慮していく。
今後は関わる機会を更に増や す。
今後は訓練の機会を増やす。
今後は訓練の機会を増やす。
聞き漏れがないよう確認を徹 底する。
引き続き指示書に基づく対応 をとる。
ヒヤリハットの作成を徹底し、 共有を行う。
引き続き継続していく。
基本的に身体拘束が必要あ子 どもは来所していないが、今後 来所することになった場合は 必ず支援計画に記載し、保護 者の同意を得る。